

自閉スペクトラム症の傾向を抱える成人の

不安感・孤独感・精神健康度との関係についての質問紙調査

Anxiety, loneliness, and mental health of adults with autism spectrum disorder tendency

○樋上光雄¹⁾, 菅野崇洋²⁾, 荒尾弘樹²⁾, 原邦夫^{1,2)}

Mitsuo HINOUE, Takahiro KANNO, Hiroki ARAO, Kunio HARA

1)産業医科大学 産業保健学部 産業衛生科学科, 2)産業医科大学大学院 医学研究科 産業衛生学専攻

1) Department of Occupational Hygiene, School of Health Sciences, University of

Occupational and Environmental Health 2) Graduate School of Occupational Health,

Graduate School of Medical Science, University of Occupational and Environmental Health

Key words:自閉スペクトラム症, 成人, 不安感, 孤独感, 精神健康度

目的

近年の研究により, 自閉スペクトラム症(ASD)を抱える小学生は, 抱えていない小学生よりも大きな不安感を感じていることが報告されている[1]. ASD の特定に関して, 不安が強い状態において, その特性(他者とのコミュニケーション力の低下や一定の物に対するこだわり等)は不安が感じられていない場合よりも表出しやすいことから, ASD を抱えている児童への不安を少なくする配慮は非常に大切だと考えられる.

一方, 障害者雇用促進法が令和3年より改正になり, 障害者の法定雇用率が引き上げられた(民間企業では2.2%から2.3%). 障害者の中にはASDを含む発達障害者も含まれており, ASDを抱える社会人が増えることが予測され, 前述のようにASDを抱えていない人より不安感が大きいことが予測される. さらに, ASDと診断されず, ASD傾向がある人の報告もある[2].

以上のことから, 本研究では20歳以上の社会人を対象にASD傾向と不安感の関連を調べることとした. さらに, 不安感の強さに関連があると考えられる孤独感と精神健康度についても調べることにした. 本発表では, 調査の途中経過を報告する.

方法

横断研究として, 20歳以上の社会人12名(性別およびASDの有無を問わない)を対象とし, 無記名アンケート(調査用紙)調査を行った. 使用する調査用紙は, ASD傾向では自閉症スペクトラム指数AQ検査日本版(AQ), 不安感ではC.A.S.性格検査(CAS), 孤独感では日本語版UCLA孤独感尺度第3版(UCLA)[3], 精神健康度ではGHQ精神健康調査 世界保健機構版GHQ12検査(GHQ12)を用いる. AQについては, 算出した得点により25点以下, 26から32点, 33点以上の3群にわけ, 不安感, 孤独感, 精神健康度の関係を調べた. なお, 本研究は産業医科大学研究倫理委員会の承認を得て行った.

結果と考察

AQの得点分布では33点以上の被験者はいなかった. そのため, 2群(A群:25点以下5名, B群:26から32点7名)間でのCAS, UCLA, GHQ12の差を学生t検定で調べたが, 有意差($p = 0.05$)は認められなかった. さらに, 2群間でCASおよびGHQ12のカットオフ値未満と以上の人数をフィッシャーの正確確率検定で調べたが, 有意差($p = 0.05$)は認められなかった.

続いてAQおよびCASの下位項目も含め, 全体と群内でピアソンの相関関係を調べた. その結果, 相関関係が認められた項目を表1に示す. 相関関係については, A群のUCLA, とGHQ12の負の相関が認められたが, B群では相関は認められず, ASD傾向を抱える人と抱えない人で違いが認められた. さらに, 下位項目でもいくつか相関が認められた. ただし, 今回は被験者数が少ないことから, 今後は被験者を増やし検討を行っていく.

表1 相関が認められた質問紙と相関係数

	質問紙	相関係数
AB両群(n=12)	CAS・GHQ	0.74
A群のみ(n=5)	UCLA・GHQ	-0.88
B群のみ(n=7)	CAS・GHQ	0.82

謝辞

本研究にご協力くださいました方々に感謝申し上げます.

参考文献

[1]Y Ishimoto, T Yamane, Y Matsumoto(2019), Anxiety Levels of Children with Developmental Disorders in Japan: Based on Reports Provided by Parents. J Autism Dev Disord, 49(9):3898-3905.

[2]木立明甫, 長根昌代, 大川佳代子, 他(2014):大学生における自閉傾向と精神健康の関連:居場所の心理機能を考慮して. 弘前大学大学院教育学研究科心理臨床相談室紀要, 11:16-27.

[3]舛田ゆづり, 田高悦子, 臺有桂(2012):高齢者における日本語版UCLA孤独感尺度(第3版)の開発とその信頼性・妥当性の検討. 日本地域看護学会誌, 15(1): 25-32.